

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する。

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況（第1表）

令和7年の青森県の漁獲数量は6万8,143トンで、前年に比べ4万9,787トン（42.2%）減少した。前年と比較して減少した主な要因は、「まいわし」、「ほたてがい」、「さば」の漁獲数量が減少したためであった。

漁獲金額は355億6,791万円で、前年に比べ13億9,246万円（4.1%）増加した。前年と比較して増加した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」、「あかい」の漁獲金額が増加したためであった。

(2) 過去5年間の平均との比較（第2表）

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では6万7,520トン（49.8%）減少し、漁獲金額では6,221万円（0.2%）増加した。

漁獲が好調であった魚種は「にじます」、「するめいか」、「あかい」等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「ほたてがい」、「まいわし」、「さば」等であった。

(3) 過去10年間の平均との比較（表、図1）

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では11万1,086トン（62.0%）減少し、漁獲金額では82億6,808万円（18.9%）減少した。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成25年	185,855		44,660	
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
令和4年	131,937	△ 8.8	39,285	19.9
令和5年	116,647	△ 11.6	37,134	△ 5.5
令和6年	117,930	1.1	34,175	△ 8.0
令和7年	68,143	△ 42.2	35,568	4.1
平成27年～令和6年 までの平均 (A)	179,229		43,836	
令和7年／(A)%	38.0 %		81.1 %	

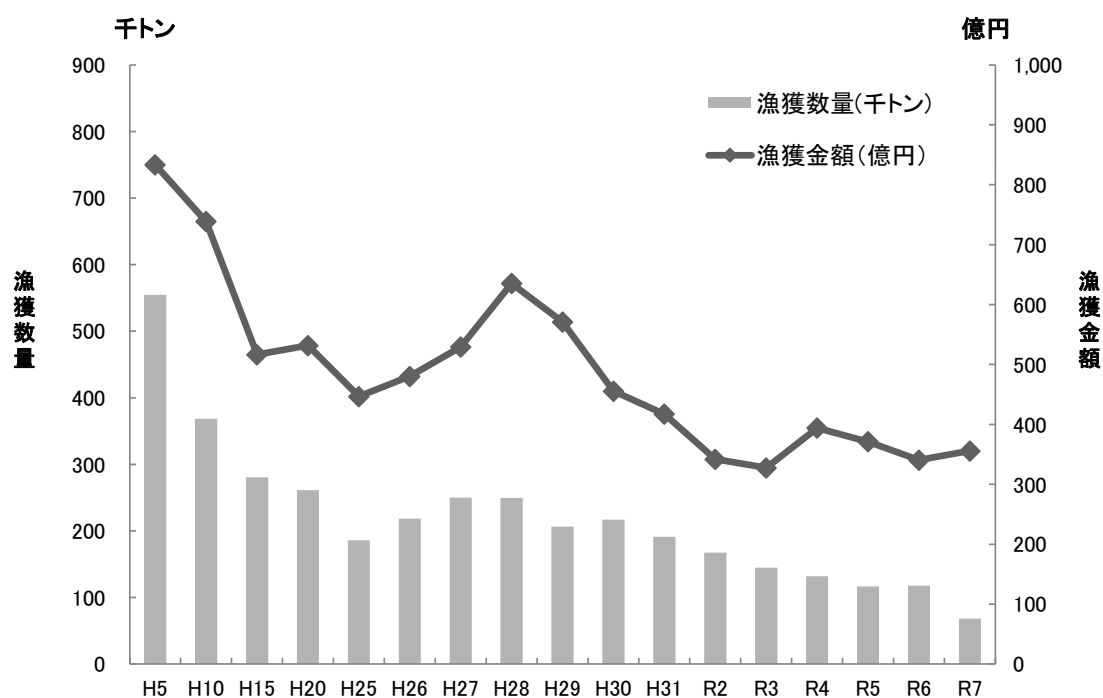


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量 (図2、第3表)

令和7年の漁獲数量を月別にみると、6月が1万5,698トンで最も多く全体の23.0%を占め、次いで7月の1万485トン(15.4%)、5月の9,407トン(13.8%)となっている。

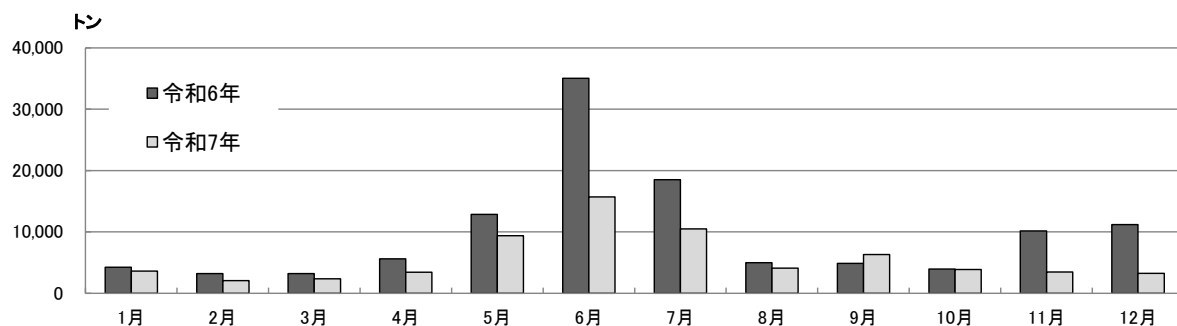


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額 (図3、第4表)

令和7年の漁獲金額を月別にみると、6月が69億172万円で最も多く全体の19.4%を占め、次いで7月の48億756万円(13.5%)、5月の43億2,760万円(12.2%)となっている。

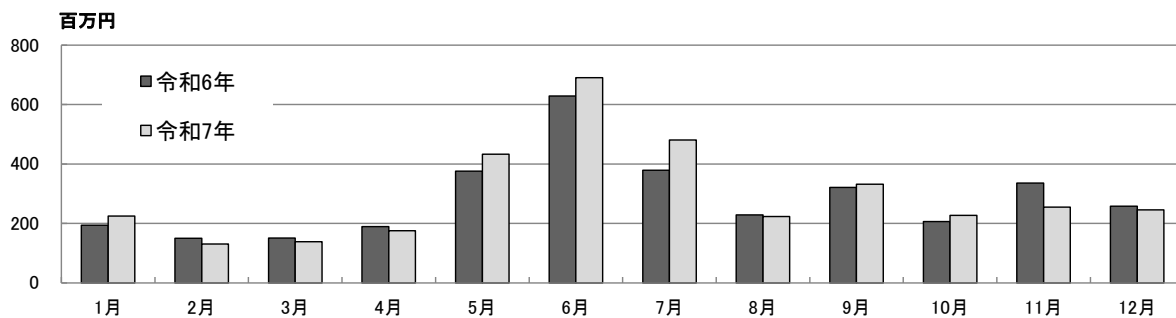


図3 月別漁獲金額

3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

① 分類別漁獲数量 (図4、第5表)

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、まいわし等の「魚類」が2万8,044トンで最も多く、全体の41.2%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」2万2,758トン(33.4%)、「その他の水産動物」1万5,940トン(23.4%)、「藻類」1,401トン(2.1%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は4万5,071トン(61.6%)減少、「貝類」は9,138トン(28.6%)減少、「その他の水産動物」は4,162トン(35.3%)増加、「藻類」は260トン(22.8%)増加した。

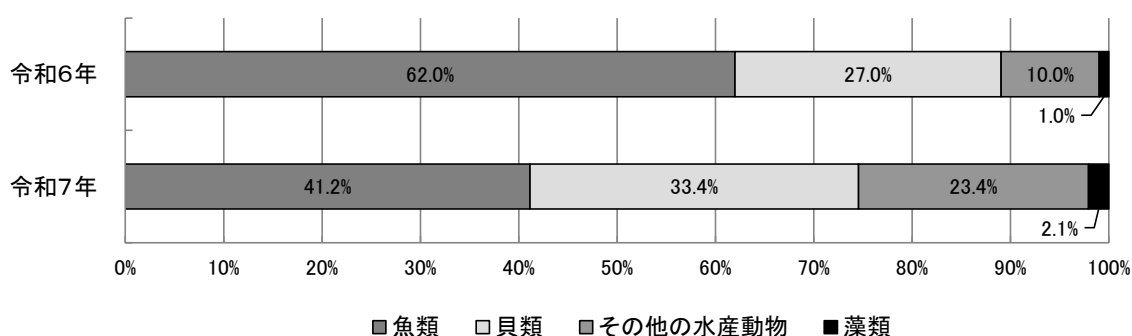


図4 分類別漁獲数量の構成比

② 分類別漁獲金額 (図5、第6表)

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が132億3,995万円で最も多く全体の37.2%を占め、次いで「魚類」111億6,296万円(31.4%)、「貝類」104億2,925万円(29.3%)、「藻類」7億3,575万円(2.1%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は20億7,669万円(15.7%)減少、「貝類」は18億108万円(20.9%)増加、「その他の水産動物」は14億5,692万円(12.4%)増加し、「藻類」は2億1,114万円(40.2%)増加した。

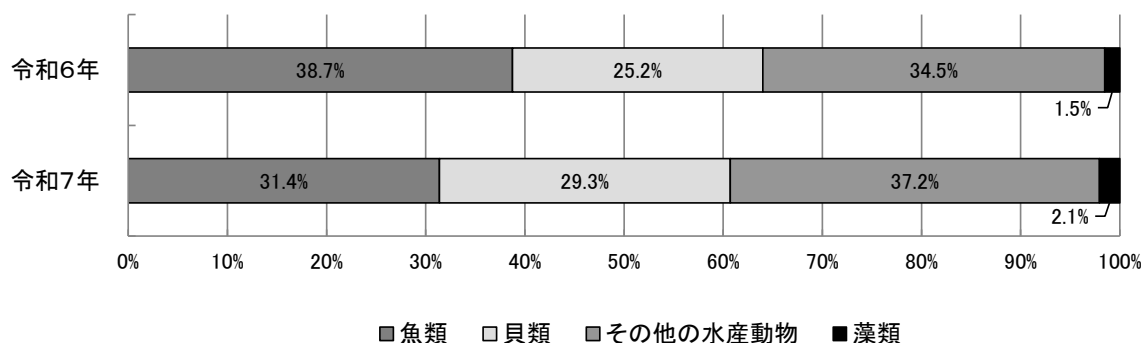


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

① 主な魚種別漁獲数量 (図6、第7表)

主な魚種別の漁獲数量をみると、「ほたてがい」が2万2,093トンで最も多く、全体の32.4%を占め、次いで「するめいか」8,003トン(11.7%)、「いわし類」5,391トン(7.9%)、「あかいか」4,759トン(7.0%)、「たら」4,479トン(6.6%)、「にじます」3,246トン(4.8%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した魚種は「するめいか」で、3,030トン(60.9%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、3万6,061トン(88.5%)減少した。

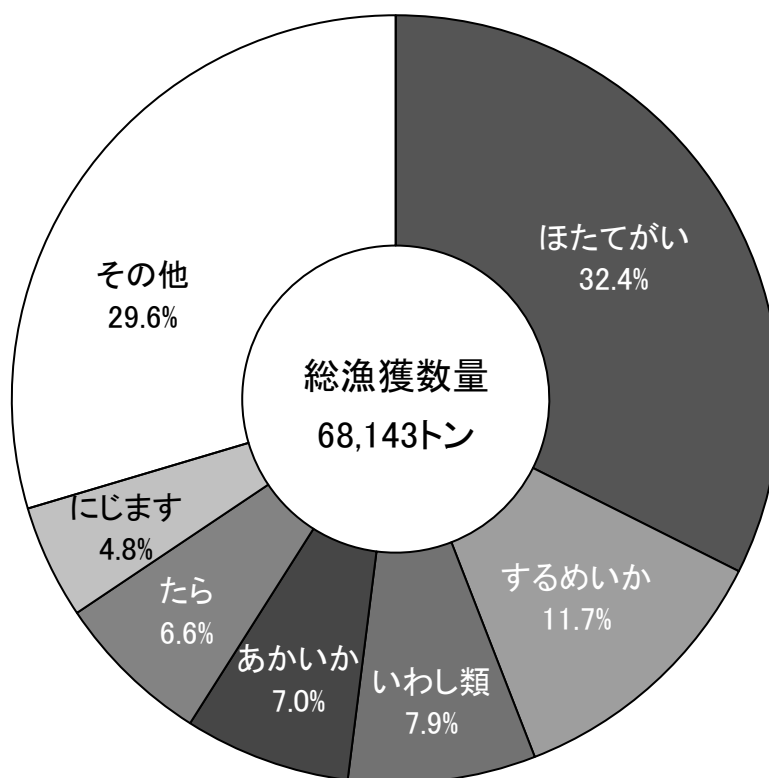


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

② 主な魚種別漁獲金額（図 7、第 1 表、第 8 表）

主な魚種別の漁獲金額をみると、「ほたてがい」が 99 億 4,917 万円で最も多く、全体の 28.0%、次いで「するめいか」60 億 5,870 万円(17.0%)、「あかいか」30 億 7,024 万円(8.6%)、「まぐろ」29 億 7,653 万円(8.4%)、「にじます」17 億 1,174 万円(4.8%)、「なまこ」16 億 5,869 万円(4.7%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した魚種は「ほたてがい」で、17 億 3,160 万円(21.1%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、20 億 4,298 万円(93.2%)減少した。

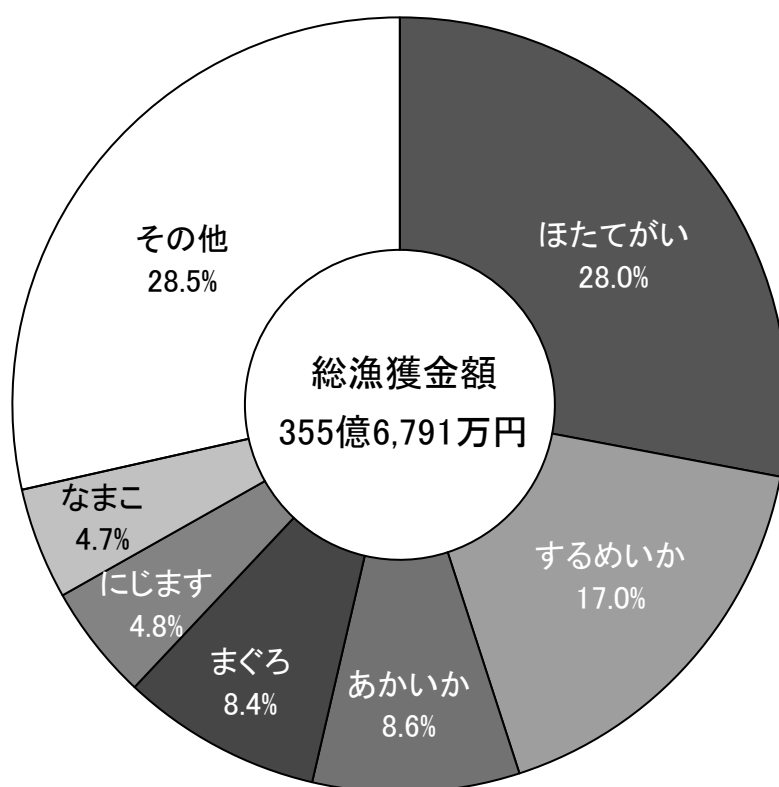


図 7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量 (第9表)

漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が2万5,295トンで最も多く、全体の37.1%で、次いで「いか釣漁業」9,450トン(13.9%)、「沖合底曳網漁業」6,809トン(10.0%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した漁業種類は「いか釣漁業」で、4,448トン(88.9%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した漁業種類は「まき網漁業」で、4万2,767トン(90.0%)減少した。

(2) 漁業種類別漁獲金額 (第10表)

漁業種類別の漁獲金額をみると、「養殖業」が115億7,405万円で最も多く、全体の32.5%を占め、次いで「いか釣漁業」65億469万円(18.3%)、「沖合底曳網漁業」28億1,673万円(7.9%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した漁業種類は「いか釣漁業」で、23億8,306万円(57.8%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した漁業種類は「まき網漁業」で、25億6,733万円(76.6%)減少した。

5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量 (図8、第11表)

市町村別漁獲数量をみると、八戸市が2万2,403トンで最も多く、全体の32.9%を占め、次いで外ヶ浜町13.4%、平内町10.0%、むつ市9.3%、深浦町5.4%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加したのは三沢市で、952トン(100.1%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少したのは八戸市で、4万1,893トン(65.2%)減少した。

(2) 市町村別漁獲金額 (図9、第12表)

市町村別漁獲金額をみると、八戸市が101億4,914万円で最も多く、全体の28.5%を占め、次いで外ヶ浜町11.7%、平内町10.0%、むつ市9.3%、大間町6.6%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加したのは外ヶ浜町で、10億4,462万円(33.5%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少したのは八戸市で、15億4,820万円(13.2%)減少した。

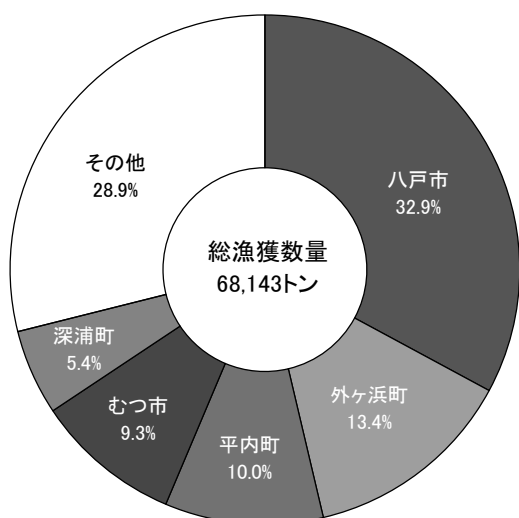


図8 市町村別漁獲数量の構成比

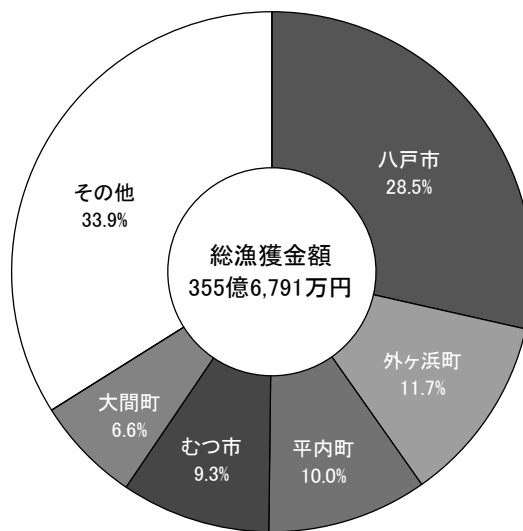


図9 市町村別漁獲金額の構成比